

本スライドは、当日のセミナー資料の一部を抜粋したものです

Azureで実現する IoT x DevOps

マイクロソフト

シニアテクニカルエバンジェリスト 牛尾 剛

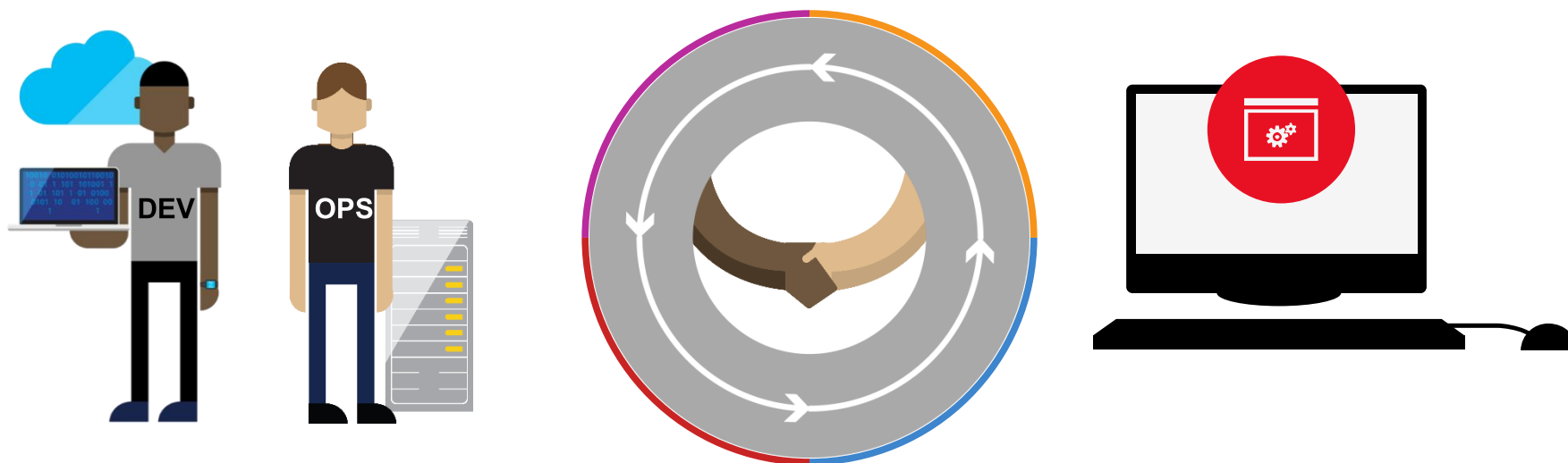
エバンジェリスト 太田 寛

アジェンダ

- DevOps の概要
- DevOps の始め方
- DevOps のプラクティス
- DevOps のIoT適用

DevOps とは、人・プロセス・プロダクトの集合体で
継続的にエンドユーザーに価値を提供することである

- Donovan Brown



1 人

2 プロセス

3 プロダクト

DevOps プラクティスの一覧

主要なプラクティス

- Infrastructure as Code (IaC)
- 継続的インテグレーション
- 自動テスト
- 継続的デプロイ
- リリースマネジメント
- アプリ パフォーマンスの監視
- ロード テストと自動スケーリング

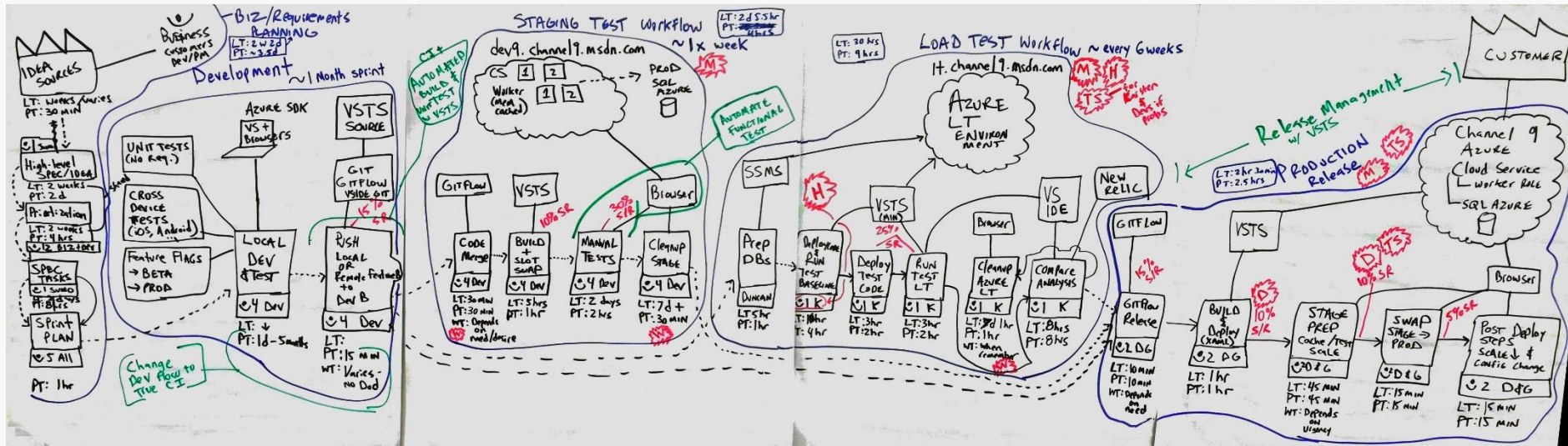
<http://www.itproguy.com/devops-practices/>

サブプラクティス

- 可用性監視
- 変更/構成管理
- 機能フラグ (フューチャーフラグ)
- 環境へのプロビジョニングの自動解除
- セルフサービス環境
- 自動回復 (ロールバックとロールフォワード)
- 仮説に基づく開発
 - 運用環境でのテスト
 - フォールトインジェクション
 - 使用状況監視/ユーザー テレメトリ

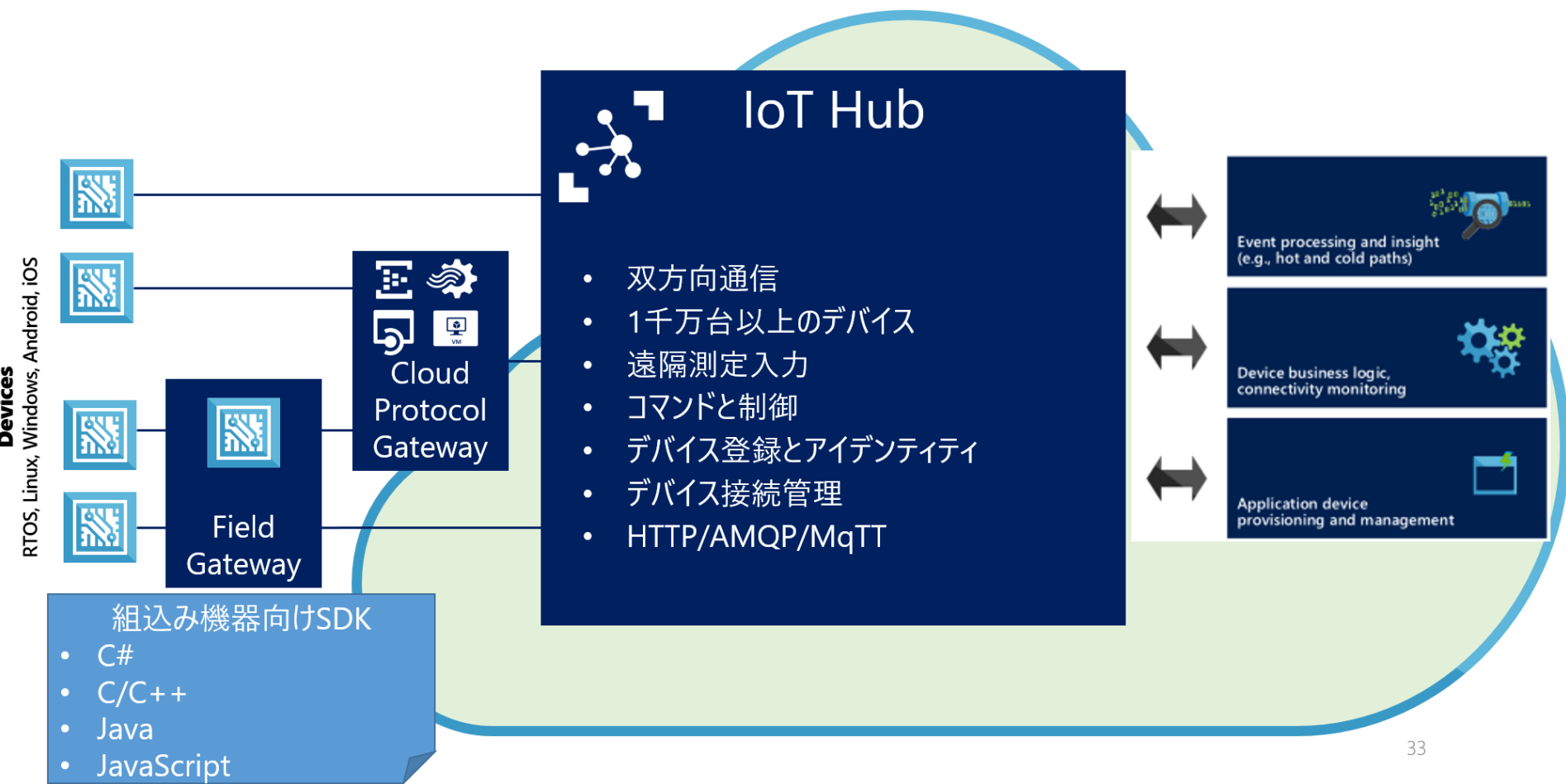
Value Stream Mapping

リードタイムに関係するプロセスの可視化と共有、課題の共有

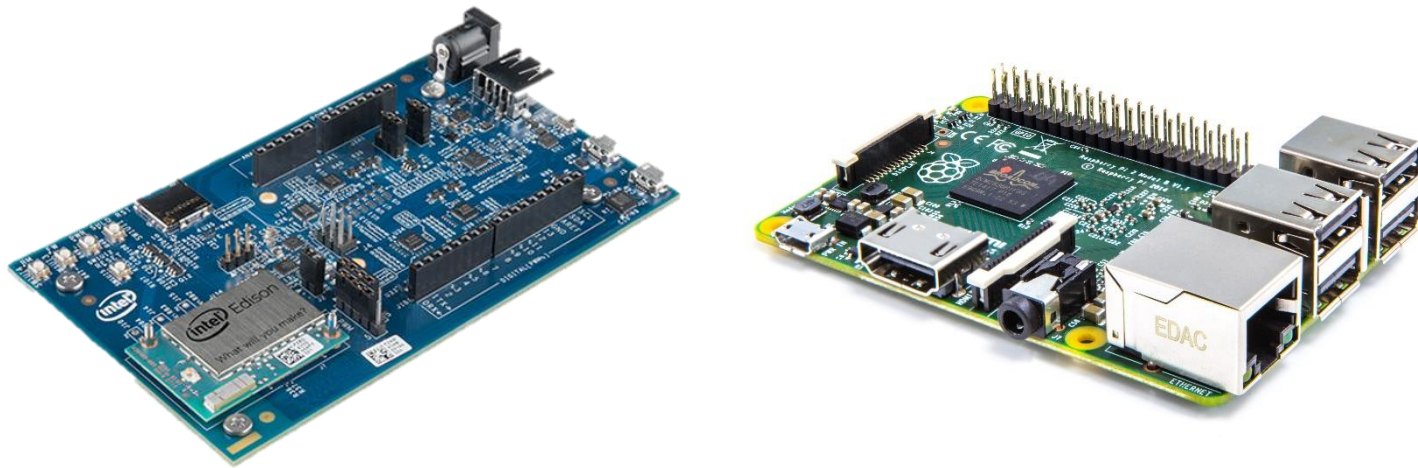


Value Stream Map の例

組み込み機器とITの橋渡し = Azure IoT Hub



デモ



※イメージ画像です※